

問1 伝統文化の継承を目指すある地域では、子どもを対象とした体験活動を実施しており、参加した子どもからは「緊張したけれど最後まで頑張れた」「祭りに興味が湧いた」といった感想が寄せられています。このような次世代に向けた活動において、重視されている視点として正しいものはどれですか。 (2023年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 伝統行事を単なる見学対象とするのではなく、体験を通じて当事者としての意識や関心を育てる視点 | 2. 伝統行事の保存は学術的な調査のみが重要であるため、子どもたちの感想は記録として残さないという視点 | 3. 地域の祭りを完全にビジネス化し、参加する子どもたちから高額な参加費を徴収して収益を最大化させる視点 | 4. 古くから伝わる作法を一切変えずに継承するため、子どもの体力や関心に合わせた調整は行わないという視点 |
|--|---|--|--|

問2 日本では、1955年から約38年間にわたり、自由民主党が政権を維持し、日本社会党が野党第一党として対立し続ける政治体制が続きました。冷戦の終結という国際情勢の変化とも連動し、1993年に非自民の連立政権が誕生したことで終焉を迎えたこの体制を何と呼びますか。 (2019年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|---------|----------|---------|
| 1. 55年体制 | 2. 大政奉還 | 3. 政党内閣制 | 4. 翼賛体制 |
|----------|---------|----------|---------|

問3 1989年、分断された東西ドイツの象徴となっていたベルリンの壁が市民によって壊され、人々の喜びが世界中に報じられました。この出来事と同じ年に地中海の島で開催され、アメリカとソ連の首脳が長年続いた対立の歴史に幕を閉じることを合意した会談の名称と、その宣言内容の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------|------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|
| 1. マルタ会談において、冷戦の終結を宣言した | 2. ヤルタ会談において、戦後のドイツ分割統治を決定した | 3. ポツダム会談において、日本の無条件降伏を勧告した | 4. マルタ会談において、ソビエト社会主義共和国連邦の解体を宣言した |
|-------------------------|------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|

問4 1990年にイラクが隣国のクウェートに侵攻したことをきっかけとして、翌1991年にアメリカを中心とする多国籍軍が派遣され、イラクとの間で行われた戦争の名称を答えなさい。 (2024年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-----------|--------------|-----------|
| 1. 湾岸戦争 | 2. ベトナム戦争 | 3. イラン・イラク戦争 | 4. アフガン戦争 |
|---------|-----------|--------------|-----------|

問5 「和食」は、自然を尊重する精神や、社会的な慣習と深く結びついた特徴を持っています。このような食文化を次世代へ継承するための取り組みとして、地域社会や家族のつながりを重視した具体的な事例はどれですか。 (2022年 広島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 正月などの年中行事において、家族や地域で特別な料理を囲んだり共同調理を行ったりすること | 2. 伝統的な味を維持するために、家庭での調理を一切やめて専門の飲食店のみを利用すること | 3. 食文化の多様性を守るために、和食以外の西洋料理や中華料理を食べることを禁止すること | 4. 効率性を重視し、すべての年中行事における食事を標準化された栄養補助食品に置き換えること |
|--|--|--|--|

問6 沖縄戦の歴史的背景と、糸満市に建立された「平和の礎」の設立目的について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 住民を巻き込んだ激しい地上戦が行われた沖縄戦の教訓を伝えるため、犠牲者全員の氏名を刻んでいる。 | 2. 沖縄が日本から切り離されアメリカの施政権下に入ったことをきっかけに、本土復帰を願って建立された。 | 3. 沖縄戦において犠牲となった日本軍将兵のみを顕彰し、その功績を後世に伝えるために建立された。 | 4. 沖縄の伝統的な石積み技術を継承するために、戦後50年の節目に平和を象徴する城壁として建設された。 |
|--|---|--|---|

問7 1991年に起こったソビエト連邦（ソ連）の解体と、その後の国際社会への影響について述べた文として、正しいものはどれか。 (2019年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 連邦を構成していた各共和国が独立国家となり、次々と国際連合に加盟した。 | 2. 東西に分断されていたドイツが、一つの主権国家として統合された。 | 3. 東ヨーロッパの社会主義諸国が、ソ連を中心とする軍事同盟を強化した。 | 4. 冷戦が終結したことで、ユーラシア大陸からすべての国境線が消滅した。 |
|--|------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|

問8 1980年代後半、ソビエト連邦でゴルバチョフによる改革が進められる中で冷戦が終結へと向かいました。この流れの中で、1990年にベルリンの壁の崩壊を経て実現した出来事として正しいものを選択肢から選びなさい。 (2016年 大阪公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------|--------------|--------------|-----------------|
| 1. 東西ドイツの統一 | 2. ソビエト連邦の結成 | 3. 南北ベトナムの分断 | 4. ワルシャワ条約機構の強化 |
|-------------|--------------|--------------|-----------------|

問9 1992年に成立したPKO協力法（国際平和協力法）に基づき、自衛隊が国連の平和維持活動として初めて派遣された国はどこですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1. カンボジア | 2. 南スーダン | 3. ゴラン高原 | 4. 東ティモール |
|----------|----------|----------|-----------|

問10 1989年、ドイツでのベルリンの壁崩壊など、東欧諸国で民主化が急速に進展する情勢の中で行われた、アメリカとソ連の首脳による会談の名称として正しいものはどれか。 (2023年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------------|
| 1. ヤルタ会談 | 2. マルタ会談 | 3. ポツダム会談 | 4. サンフランシスコ平和会議 |
|----------|----------|-----------|-----------------|

問11 1967年に制定された「公害対策基本法」に代わり、1993年に「環境基本法」が制定された主な理由として、当時の社会状況の変化をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 高度経済成長期に発生した四大公害裁判の判決を受け、公害の被害者救済と原因企業の処罰のみに特化した厳しい規制を行う必要が生じたため | 2. 地球温暖化や廃棄物問題など、従来の公害の枠組みだけでは捉えきれない、地球規模の環境問題や循環型社会の構築を視野に入れた対策が求められたため | 3. 国際連合人間環境会議の開催を受け、世界に先駆けて二酸化炭素の排出量を半分に削減する具体的な数値目標を国内法で義務づけるため | 4. バリ協定の採択に基づき、国内の環境規制を国際基準に合わせることで、途上国への技術支援を経済政策の柱として位置づけるため |
|---|--|--|--|

問12 1970年代に発生した「石油危機（オイル・ショック）」が、日本の経済成長に与えた影響と、その後の社会の変化について述べた文として正しいものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 物価が急激に上昇して経済が混乱し、それまでの高度経済成長が止まって安定成長の時期へと移行した。 | 2. エネルギー源が石炭から石油へと転換するエネルギー革命が始まり、重化学工業が飛躍的に発展した。 | 3. 景気が過熱して地価や株価が異常に値上がりするバブル経済が発生し、消費が大幅に拡大した。 | 4. 輸出を制限して輸入を促進する政策がとられ、貿易摩擦を解消するために円安誘導が行われた。 |
|--|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 伝統行事を単なる見学対象とするのではなく、体験を通じて当事者としての意識や関心を育てる視点	伝統的な祭りの継続には、担い手の不足や高齢化が共通の課題となっています。子ども専用の道具を用いた行列や体験教室は、子どもたちが「自分も祭りの一部である」という達成感を得られるように設計されています。こうした肯定的な体験が「次も参加したい」という継続的な意欲につながり、結果として地域の伝統文化が次世代へと引き継がれていく土台となります。
問2	答え 1 55年体制	1955年に保守合同によって自由民主党が結成され、同時に日本社会党も統一されたことで成立した政治構造を55年体制と呼びます。この体制下では自民党が常に政権を担当してきましたが、冷戦の終結による国際秩序の変化や国内の政治改革への要求が高まったことで、1993年に細川護熙を首班とする非自民連立政権が誕生し、長年の1党支配に終止符が打たれました。
問3	答え 1 マルタ会談において、冷戦の終結を宣言した	1989年に東西分断の象徴であるベルリンの壁が崩壊したことを受け、同年に開催されたマルタ会談でアメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ最高会議議長が対談しました。この場で、第二次世界大戦後から続いていた資本主義陣営と社会主義陣営の対立構造である「冷戦」の終結が公式に宣言されました。ソ連の解体は1991年の出来事であり、会談での宣言内容とは区別する必要があります。
問4	答え 1 湾岸戦争	冷戦終結直後の1990年、イラクが石油資源の確保などを目的として隣国のクウェートに軍事侵攻し、併合を宣言しました。これに対し、国際連合の決議に基づいてアメリカを中心とした多国軍が組織され、1991年にイラクへの攻撃を開始しました。これが湾岸戦争です。
問5	答え 1 正月などの年中行事において、家族や地域で特別な料理を囲んだり共同調理を行ったりすること	和食は単なる料理の名称ではなく、正月や収穫祭といった年中行事と密接に関連し、地域の絆を深める役割を果たしてきました。こうした行事を通じた食事や、地域での共同調理の機会を持つことは、自然の恵みを分け合い、伝統的な知恵や文化を次世代へ伝える重要な手段となります。
問6	答え 1 住民を巻き込んだ激しい地上戦が行われた沖縄戦の教訓を伝えるため、犠牲者全員の氏名を刻んでいる。	第二次世界大戦末期の沖縄戦は、住民が戦闘に巻き込まれ、多くの尊い命が失われるという凄惨な地上戦となりました。平和の礎は、この事実を忘れることなく、国籍を問わず全ての戦没者の氏名を刻むことで、戦争の犠牲となった人々の尊厳を守り、平和を願う沖縄の「心」を世界に発信するために設立されました。1995年の終結50周年という節目に建立された背景には、記憶の風化を防ぐ意図もあります。
問7	答え 1 連邦を構成していた各共和国が独立国家となり、次々と国際連合に加盟した。	ソ連の解体は冷戦終結を象徴する出来事であり、それまで連邦の一部であった各共和国は主権を持つ独立国家となりました。これらの新国家が国際連合へ加盟したことで、国際社会における国家数は大幅に増加し、現代の国際秩序が形成される大きな節目となりました。なお、ドイツの統一やベルリンの壁崩壊はソ連解体に先立って起こった関連事象ですが、直接の「解体による変化」とは区別する必要があります。
問8	答え 1 東西ドイツの統一	1989年に東欧諸国で民主化運動が広がり、象徴的であったベルリンの壁が崩壊しました。これを受けて、翌1990年に東ドイツが西ドイツに吸収される形で、分断されていた国家が一つに統合されました。これは冷戦終結を象徴する歴史的な出来事です。
問9	答え 1 カンボジア	長年続いた内戦を終結させるため、国連カンボジア暫定統治機構（UNTAC）が設置されました。日本はこの活動を支援するため、PKO協力法に基づいて初めて自衛隊の施設部隊などを派遣し、道路の補修や選挙の監視業務などに携わりました。
問10	答え 2 0 マルタ会談	1989年に地中海のマルタ島で行われたこの会談は、アメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ書記長によって開催されました。第二次世界大戦後の1945年にドイツの戦後処理などを話し合ったヤルタ会談やポツダム会談とは開催時期も内容も異なります。1989年は東欧革命の真只中であり、ドイツを分断していたベルリンの壁が崩壊した歴史的な年でもあります。
問1	答え 2 1 地球温暖化や廃棄物問題など、従来の公害の枠組みだけでは捉えきれない、地球規模の環境問題や循環型社会の構築を視野に入れた対策が求められたため	1960年代の日本では、高度経済成長に伴う地域的な公害（大気汚染や水質汚濁など）が深刻な社会問題となっており、それらを規制するために「公害対策基本法」が制定されました。しかし、1990年代に入ると、地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨といった国境を越える地球規模の課題が顕在化したため、従来の公害対策を包含しつつ、より広く環境保全や国際協力を推進するための「環境基本法」へと発展的に解消・統合されました。
問1	答え 1 2 物価が急激に上昇して経済が混乱し、それまでの高度経済成長が止まって安定成長の時期へと移行した。	1973年の石油危機により、原油価格の高騰から狂乱物価と呼ばれる激しいインフレが起こりました。これにより、1950年代半ばから続いていた実質経済成長率10%前後の「高度経済成長」が終わり、1974年には戦後初のマイナス成長を記録しました。その後、日本は省資源・省エネルギー化を進め、緩やかな「安定成長」の時代へと入ることとなります。